

令和7年度

第2回 八代市社会教育委員会議

日時：令和7年10月30日（木）

14時00分～

場所：八代市公民館 会議室A B

次 第

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 議 事

（1）令和8年度八代市社会教育団体補助金予算（案）について

① 八代市地域婦人会連絡協議会

② 八代市子ども会連合会

③ 八代市PTA連絡協議会

（2）令和7年度地域学校協働活動について

（3）令和8年度予算要求に向けて

4. その他

5. 閉 会

八代市社会教育委員名簿

	区 分	氏 名	団 体 等 名	備考
1		あおはま いっこ 青瀨 伊津子	八代校長会小学校部会代表 (八代市立昭和小学校長)	新任
2		さかもと たろう 坂本 太郎	八代校長会中学校部会代表 (八代市立第八中学校長)	新任
3	副委員長	まつもと けいすけ 松本 啓佑	八代市PTA連絡協議会代表 (顧問)	再任
4		みくりの えみこ 三栗野 恵美子	八代市地域婦人会連絡協議会代表 (会長)	再任
5	副委員長	たかくら ちさこ 高倉 知佐子	NPO法人八代市スポーツ協会代表 (副会長)	再任
6		きむら さやこ 木村 鞠子	八代市民生委員児童委員協議会代表 (副会長)	新任
7		とくだ たけはる 徳田 武治	八代地域代表 (市民活動政策課推薦)	再任
8		やまもと いづほ 山本 衣図穂	坂本地域代表 (坂本支所推薦)	再任
9		すすきだ しんじ 薄田 眞治	千丁地域代表 (千丁支所推薦)	再任
10	委員長	いきた ふみあき 生田 文明	鏡地域代表 (鏡支所推薦)	再任
11		いのうえ まさずみ 井上 正澄	東陽地域代表 (東陽支所推薦)	新任
12		おしかた てつや 押方 哲也	泉地域代表 (泉支所推薦)	再任

任期: 令和7年8月1日～令和9年7月31日 委員定数16人以内

令和7年度 地域学校協働活動事業計画

【令和7年度重点事業】

本市の重要な教育課題の一つである不登校問題については、不登校児童生徒数が年々増加傾向にあり、また、その要因も多様化・複雑化しており、対応について学校関係者だけでは厳しい状況にあります。そのため、学校と保護者だけでなく、関係機関、地域住民等の連携・協働体制を構築し、社会総掛かりで対応していくことが求められます。地域学校協働活動の中では様々な学校協力活動での支援に位置付けし、学力だけでなく、児童生徒の話の傾聴や、相談に応じるなど、コミュニケーションにも重きを置き、学校に行きやすい、学校での居場所づくり等の環境を整えます。

本事業では、不登校問題に対して支援していくことを目的として、以下のように対応していきます。

(1) 関係機関との連携

- ・教育委員会内（教育政策課、学校教育課、教育サポートセンター、くま川教室、生涯学習課）での情報共有及び連携の強化。
- ・社会教育団体や退職校長会、主任児童委員等の関係者・関係機関との意見交換会などによる情報共有及び連携。

(2) 様々な学校協力活動を活用した支援

- ・地域住民(退職教職員、民生児童委員等)による別室登校者への支援を推進。

※会議等の回数や時期は予定です。

月	スケジュール
4 月	学校訪問（4/16～5/30 新任校長、教頭・管外の校長、教頭）
5 月	第1回協働本部会議及び第1回連絡調整会議（5/21 八代市公民館）
6 月	第2回連絡調整会議（6/24 八代総合庁舎）
7 月	学校訪問（7/22～8/22 全学校 ※泉八小除く）
8 月	地域学校協働活動ワールドカフェ（第3回連絡調整会議）（8/5 八代市公民館）
9 月	
10 月	
11 月	第4回連絡調整会議（11/27 八代総合庁舎）
12 月	
1 月	
2 月	第2回協働本部会議及び第5回連絡調整会議（日にち未定 八代市公民館）
3 月	

令和7年度「地域学校協働活動」の主な実践事例（9月末現在） ※報償費を伴う事業

は報償費を伴う事業なし

学校名	取組名	学校名	取組名	学校名	取組名	学校名	取組名	
代陽小	2・4年学習サポート	八代小	3年書写指導	千丁小	1年下校指導見守り活動	一中	サポーターによる別室登校生見守り支援	
	4年校外学習サポート		クラブ活動支援		読み聞かせ	二中		
	1・2・3年交通学習サポート		交通教室協力依頼		4年認知症講話	三中	サポーターによる別室登校生学習支援	
	6年ミシン学習サポート		引き渡し訓練補助		交通教室		地域未来塾(夏休み対応)	
	3年校外学習サポート	宮地小	クラブ活動オリエンテーション	鏡小	樹木消毒	四中	校内支援センター学習サポート	
太田郷小	学習支援	日奈久小	1年下校指導補助	有佐小	中庭除草剤散布、樹木剪定、残枝片付け作業		水泳授業見守り	
	1・2年交通指導教室撮影		日奈久音頭指導	文政小	タマネギの除草・収穫		美術授業支援	
	1年畑マルチ張りサポート		1・2・3年校外学習安全指導及び引率		トウモロコシのマルチ張り、植え付け		地域未来塾(夏休み対応)	
	3・4年自転車教室サポート		5・6年家庭科裁縫実習支援		栽培委員会との野菜苗植え		体育大会放送補助	
	6年ミシンサポート	昭和小	放課後子ども教室		ジャガイモの収穫	五中		
植柳小	学習支援		松田神社祭奉納太鼓発表見守り		サツマイモの植え付け	六中	地域未来塾（学習支援）	
	1～6年交通安全教室サポート		5・6年家庭科裁縫サポート		書写指導	七中		
松高小	1年下校補助	二見小	5・6年家庭科調理実習サポート		東陽小	トウモロコシの収穫	八中	みやじ学オリエンテーション・フィールドワーク
	1年町探検補助		1・2年交通安全指導	ふれあい農園手入れ・清掃		みやじ学発表会		
	プール支援補助		読み聞かせ	泉小		就任式、始業式、入学式写真撮影		ちなもい音頭講師
金剛小	1年下校見守り		放課後見守り			学習補助	日奈久中	イチゴ狩り
	学習準備サポート		プールサイド草刈り・整備			プール開き撮影		俳句教室
	学習支援サポート		1・2年下校指導			水泳大会写真撮影		地域未来塾(夏休み対応)
	3年習字指導		雨乞い踊り指導	栗剥き体験サポート		美化作業		
高田小	4年地域学習引率補助	龍峯小	本の読み聞かせ	ミシン補助	二見中	読み聞かせ活動		
	1・2・4年プール見守り	麦島小	1年下校見守り	泉八小	放課後子ども教室	地域未来塾（学習支援）		
	クラブ活動講師		6年調理実習補助		泉小	草刈り支援	坂本中	
	5年調理実習補助		3年新麦島音頭指導			花壇の整理、苗植え	千丁中	サポーターによる別室登校生支援
八千把小	2年畑の畝づくり		3年書写指導補助			田植え準備、支援	鏡中	サポーターによる別室登校生支援
	2年芋の苗植え		1～4年ふれあい学習会指導			プール掃除支援	東陽中	小中合同運動会写真撮影
	3年書写の補助		5～6年ステップアップ学習会			縦木児童神楽指導		技術科学習指導支援
	3年水泳時の安全補助	八竜小	稲作体験管理支援			サポーターによる別室登校生支援		
郡築小	田おこし、代掻き、田植え指導、鹿対策網設置		校内美化支援			学習支援		
	1年下校見守り	田んぼの水確認	運動会準備支援	泉中		お茶摘み・お茶煎り体験支援		
5・6年家庭科調理実習補助			バス見送り					
					運動場整備	八代支援		
※地域コーディネーターの主な共通の活動		・情報収集のための学校訪問			・学校ボランティア募集			
・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）出席		・校内打合せ（管理職・担当職員等）		・地域コーディネーター連絡調整会議（協働本部主催）出席				

八代市教育振興基本計画に係る事業一覧（生涯学習課関係分）

(令和7年度予算関係分) 事業名	基本方針						
	10	11	12	13	14	16	18
	の学 連校 携・家 協庭 働・地 域	力家 の庭 向に 上お ける 教育	力地 の域 向に 上お ける 教育	活生 動涯 のを 推進 した 学習	く人 りを の育 推む 進図 書館 づ	備社 会教 育施 設の 整	進災 ・害 教か 訓ら のの 継復 承興 推
青少年センター管理運営事業						●	
二見自然の森管理事業						●	
八竜山自然公園管理運営事業						●	
社会教育センター管理事業						●	
赤星公園管理事業						●	
★人権教育事業				●			
★学校・家庭・地域の連携協力推進事業	●						
★社会教育事業			●				
★青少年体験活動事業			●	●			●
教育文化センター建設基金事業						●	
公民館管理運営事業						●	
★生涯学習推進事業		●	●	●			●
公民館施設整備事業						●	
★図書館管理運営事業					●	●	

人権教育事業

※H23から「地区内同和教育事業」と合算

- 目的 八代市におけるあらゆる差別の解消を図るため、互いの人権を尊重する心豊かな社会の確立に向け、各種研修会等への参加を通じて、重要な人権課題の把握に務めるとともに、社会教育指導員や専門講師等を活用し、様々な学習機会の提供を行うことにより、市民の人権意識の向上に努める。また、人権教育活動の拠点である西宮・上日置集会所で行う解放学習会等を支援するとともに、建物の維持管理を行う。
- 全体計画 各校区での人権教育研修会の実施、各種大会・研修会への参加。
小・中・高生の学習支援、地区内住民の解放学習、解放子ども会事業、地区内同和教育事業、集会所建物維持管理等の実施。
令和7年度は八代地区社会人権同和教育連絡協議会の事務局になるため、氷川町と連携し社会人権同和教育の研究と推進を図る。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R 4年度： 4,165千円	財源内訳：一般財源 4,165千円
R 5年度：10,272千円	財源内訳：一般財源 10,272千円（西宮上日置集会所空調等改修工事 6,100千円）
R 6年度： 5,073千円	財源内訳：一般財源 5,073千円

○令和7年度の主な事業内容

- ・ 地区内人権教育講師謝礼 10名の講師により地区住民の解放学習の実施（下記、解放子ども会事業の学習支援）
講師謝礼 1,500千円（R6：1,500千円、R5：1,500千円、R4：1,500千円）
- ・ 八代解放子ども会事業 地区内の小・中・高生に対する学習会や体育スポーツ・レクリエーション等の開催
事業委託 219千円（R6：219千円、R5：219千円、R4：219千円）
- ・ 地区内人権同和教育事業 地区内における学習計画の立案や解放講座等の開催
事業委託 400千円（R6：400千円、R5：400千円、R4：450千円）
- ・ 集会所維持管理経費 1,480千円（管理人謝礼：190千円、消耗品費：95千円、光熱水費：630千円、施設修繕：88千円、電話料：69千円、消防設備点検：22千円、機械警備・清掃業務：209千円、NHK受信料：13千円、印刷機賃借料：164千円）
- ・ 人権教育研修 部落解放第37回熊本県研究集会【宇城市】、部落解放・人権確立第44回全九州研究集会【長崎県長崎市】
第53回熊本県人権教育研究大会【荒尾市】
熊本県市町村人権同和教育連絡協議会先進地視察研修等【京都市・北九州市（予定）】

課名	事業名	R6予算額	R7 査定額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	人権教育事業 （旧：人権教育事業＋ 地区内同和教育事業）	5,073	4,083	△ 990					4,083	・ 地区内人権教育講師謝礼 : 1,500千円 ・ 八代解放子ども会事業委託 : 219千円 ・ 地区内人権同和教育事業委託 : 400千円 ・ 人権教育研修旅費等 : 116千円 ・ 協議会等負担金 : 293千円

学校・家庭・地域の連携協力推進事業

- 目的 幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行う。
- 本事業では、地域学校協働活動（様々な学校協力活動）（放課後子ども室）（地域未来塾）の教育支援活動を積極的に実施することにより、地域の実情に応じ、地域の力を活かして子供を健全に育てることで、各事業の円滑な実施を図る。
- 全体計画
- ・令和2年4月に八代市地域学校協働本部を設置し、教育部長を本部長とし、学校支援活動を継続的・安定的に活動を実施できるよう横の連携に努める。また、各学校に地域コーディネーターを配置している。
 - ・「地域学校協働活動」事業については、H29年度から第三中学校区にて事業を行っている。R2年度より、15小学校、5中学校、1支援学校で実施。R3年度よりすべての39小・中・特別支援学校にて事業実施。
 - ・「放課後子ども教室」事業については、昭和小、泉小にて事業を展開している。（郡築小はR2年度より、ボランティアの確保ができず中止）
 - ・「地域未来塾」事業については、様々な理由や家庭の事情により家庭での学習が困難であったり、学習習慣が身についていない中学生に対して塾の講師や教員OB等による学習支援を行う。R6年度は、第三中・第四中・第六中・日奈久中・二見中・千丁中にて実施している。
 - ・地域コーディネーターの人材育成が課題となっているため研修等を実施し、地域社会全体で学校運営を行っていくことの必要性について、地域コーディネーター及び教職員等の意識を変えて行く取組を実施していく。
 - ・近年では不登校児童生徒が増加傾向にあるため、協働活動サポーターを活用し、別室での見守り支援や学習支援を行う。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R4年度：6,718千円	財源内訳：県支出金 4,488千円、一般財源 2,230千円
R5年度：6,996千円	財源内訳：県支出金 4,672千円、一般財源 2,324千円
R6年度：6,734千円	財源内訳：県支出金 4,498千円、一般財源 2,236千円

○令和7年度の実行予算額

- ・ 報償費：6,479千円 地域未来塾 240千円×7校＝1,680千円
会議出席時報償費（本部会議・連絡調整会議・CS）：24千円×39校＝936千円
学校の働き方改革を踏まえた活動：110千円×30校＝3,300千円
放課後子ども教室学習指導員：281.25千円×2校＝562.5千円
- ・ 消耗品費：195千円 地域学校協働活動事業運営消耗品：5千円×39校＝195千円

○その他

放課後子ども教室
参加児童数（R4年度実績） 昭和 18人（1年～3年生） 泉小 7人（1年～2年生）
参加児童数（R5年度実績） 昭和 22人（1年～3年生） 泉小 9人（1年～2年生）
参加児童数（R6年度実績） 昭和 16人（1年～3年生） 泉小 6人（1年～2年生）
地域未来塾
参加生徒数（R6年度実績）（通年）二見中13人・第六中8人
（夏休みのみ）第三中10人・第四中13人・日奈久中30人・千丁中73人

課名	事業名	R6 予算額	R7 査定額	増減	財源内訳					主な内容
生涯学習課	学校・家庭地域の連携 協力推進事業	6,734	6,776	42		4,502		22	2,252	・様々な協力活動：39校 ・放課後子ども教室（小学校）：2校 ・地域未来塾（中学校）：7校

社会教育事業

- 社会教育委員会

目的

教員委員会の諮問機関としての活動や青少年教育に関する指導的な活動等を行い、多様化する社会教育のニーズを施策に反映する。
- 委員の設置

委員数 12人

委員会議の開催 委員報酬 177千円 (5,900円×10人×3回) (12人：うち2人は校長会代表)

九州ブロック社会教育研究大会(福岡市)、熊本県社会教育委員連絡協議会理事会等への参加

費用弁償:34千円 資料代：20千円(熊本県社会教育研究大会1,500円×13人他)

機関紙「社教情報」等の購読:27千円
- 社会教育指導員

目的

地域や学校における様々な活動や学習に対して、指導及び助言を行う。また、生涯学習の支援に関する業務を行う。
- 社会教育指導員給与等：4,960千円、期末勤勉手当：1,663千円、社会保険料等：1,275千円、費用弁償：89千円

- 社会教育団体

目的

本市における社会教育の振興を図るため、団体の実施する事業に対し補助及び人的支援を行う。

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
市PTA連絡協議会	181千円	685千円	665千円	645千円	581千円	571千円	513千円	513千円	513千円	513千円	513千円	513千円	H26年度 まで委託金 高田校区の減
市地域婦人会連絡協議会	1,649千円	1,514千円	1,464千円	1,419千円	1,277千円	1,220千円	1,098千円	1,098千円	1,098千円	1,068千円	1,068千円	1,068千円	
市子ども会連合会	1,113千円	865千円	839千円	813千円	725千円	445千円	265千円	240千円	240千円	240千円	240千円	240千円	

- 二十歳の集い

目的

人生の節目（二十歳）を迎える次代を担う若者達を激励し、祝福するため開催する。
- 二十歳での実行委員会を組織し、八代市二十歳の集いの企画運営を委託し、実施する。

開催日：令和8年1月11日(日)(予定) 場所：八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）（予定）

対象者：平成17年4月2日～平成18年4月1日生

二十歳の集い企画運営委託料：989千円 交通誘導警備委託料等：396千円 施設使用料：551千円 他
- 協議会負担金

熊本県社会教育委員連絡協議会:5千円

- その他の社会教育事務経費

需用費（事務用品、パフォーマンスチャージ料等）922千円、公用車車検代等245千円、大型プリンターリース料225千円 1,392千円

課名	事業名	R6 予算額	R7 査定額	増減	財源内訳					主要内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	社会教育事業	12,517	13,602	1,085					13,602	社会教育委員報酬 177千円 社会教育指導員報酬等 7,987千円 社会教育団体補助金 1,821千円 二十歳の集い開催経費 2,274千円

青少年体験活動事業

○目的 小学生を対象に、各種の生活体験や自然体験等の体験講座を開催し、家庭や学校で経験できない活動を通じ、他校の児童及び異学年との触れ合いを通して子ども達の健全育成を図る。

○全体計画 豊かな自然の中での野外活動や集団生活を通じて自主性や協調性を育み、地域との交流を深めながら豊かな感性と健全な心身の育成を図る。また、親子で共に体験活動を行い、驚きや感動を共有し親子の絆を深め、市内外各地域を会場として体験プログラム（キッズチャレンジ）を企画し、開催する。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R4年度： 579千円	財源内訳：その他（参加料） 358千円、一般財源 221千円
R5年度： 603千円	財源内訳：その他（参加料） 324千円、一般財源 279千円
R6年度： 599千円	財源内訳：その他（参加料） 324千円、一般財源 275千円

○令和7年度の主な事業内容（予定）

・ キッズチャレンジ2025 「アウトドアスクール」	会場：県立あしきた青少年の家 日程：2泊3日	参加対象者：小学4～6年生の児童及び高校生ボランティア 約40人 内容：野外炊飯・キャンプファイヤー 他
・ キッズチャレンジ2025 「夏休み子ども陶芸教室」	会場：赤星公園・水竹居の館 日程：1日	参加対象者：小学4～6年生の児童 約30人 内容：陶芸体験
・ キッズチャレンジ2025 「宿泊体験活動」	会場：さかもと青少年センター 日程：1泊2日	参加対象者：小学4～6年生の児童 約24人 内容：トレッキング・調理体験・工作 他
・ キッズチャレンジ2025 「親子体験教室」	会場：未定 日程：1日	参加対象者：小学1～6年生の児童・保護者 約10組20人 内容：里山散策、調理体験 他

課名	事業名	R6 予算額	R7 査定額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	青少年体験活動事業	599	715	116				325	390	講師謝礼・自動車等借上料（バス）・施設使用料・賄材料費・消耗品費 等

生涯学習推進事業

○目的 市民が、生涯にわたって、気軽に、誰でもが、芸術文化活動、スポーツ活動、社会参加に通じる学習活動などに参加することができ、その成果を適切に生かすことのできる地域社会の実現を目指す。

○全体計画

- ・市民の課題解決、学習ニーズに対応した「やつしろ市民大学」、「おでかけ公民館講座」等を開設するとともに、時代の変化に応じたスキルが学べるリカレント教育や誰一人取り残さないデジタル社会実現に向けた生涯学習活動を推進する。
- ・八代市が今後重点的に推進する台湾との交流事業において、生涯学習課として台湾に関する講座を新規に開設し、市民の国際理解の向上や交流促進等につなげる。
- ・家庭教育学級を対象とした学習支援や研修会を開催し、家庭の教育力向上を図る。
- ・講演会や市民の学習活動等の成果を発表する、「まなびフェスタ」を開催する。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R4年度：2,721千円	財源内訳：その他（受講料）803千円、一般財源 1,918千円
R5年度：2,938千円	財源内訳：その他（受講料）1,070千円、一般財源 1,868千円
R6年度：3,610千円	財源内訳：その他（受講料）930千円、一般財源 2,680千円

○令和7年度の主な事業内容

- ・家庭教育学級：165千円（講師謝金155千円、講師旅費4千円、消耗品費6千円 他）
 - ①市内小・中学校、幼稚園、保育園単位による学級開設（令和6年度実績：62学級）
 - ②全体研修会（市内全学級を対象とした研修会を開催）
- ・公民館講座：1,177千円（講師謝金742千円、講師旅費110千円、消耗品費297千円、保険料22千円 他）
健康講座、食育講座など24講座を開催予定
- ・まなびフェスタやつしろ：1,071千円（団体等謝金141千円、講師派遣委託750千円、消耗品費30千円、印刷製本費123千円 他）
講演会、学習クラブ活動発表、食バザー、体験講座、学習作品展示、人権啓発作品展示 等
- ・リカレント教育：948千円
かんたんスマホ講座、はじめてのスマホ講座、デジタル系講座等を開催予定

課名	事業名	R6 予算額	R7 査定額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	生涯学習推進事業	3,610	3,435	△ 175				1,527	1,908	講師謝礼、消耗品費、まなびフェスタやつしろ開催経費

図書館管理運営事業

○目的 生涯学習の中核施設及び地域の情報センターとして、市民の読書活動、学習活動、調査研究活動等を支援し、市民の教育と文化の発展に寄与するため、必要な図書資料等を収集、整理、保存し貸出又は閲覧に供するとともに、読書活動を推進する自主事業等を行い、学習活動や文化活動の機会を提供する。

○全体計画 ・図書館運営方針の着実な履行と指定管理者が適切な運営管理を行うよう指導、助言、進捗調整を行い市民に親しまれる図書館運営の実現を目指す。
・電子書籍のコンテンツ数を増やし、児童生徒の読書活動の推進とDX化を図る。
・図書館本館の設備修繕を行い、読書環境の整備を図る。
・図書館システム選定の年度であり、R8年2月からの図書館業務に支障をきたさないよう選定業務を行う。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R4年度： 140,833千円 財源内訳：その他（使用料他） 840千円、一般財源 139,993千円
R5年度： 142,278千円 財源内訳：その他（使用料他） 830千円、一般財源 141,448千円
R6年度： 141,857千円 財源内訳：その他（使用料他） 1,331千円、一般財源 140,526千円
※H27年度から指定管理制度導入により、本館・せんちょう分館・かがみ分館を含む運営経費となっている。

○R7年度の主な予算額

・委託料：138,416千円	指定管理委託料	指定管理委託料
・修繕料：500千円	施設設備修繕（リスク分担対応分）	指定管理期間： R7.4.1～R12.3.31(5年)
・報酬：95千円	図書館協議会委員報酬	委託先：TRCグループ共同企業体
・委託料：3,391千円	図書システム保守点検委託（再リース分含む）	委託金額：総額 692,080千円
・使用料：1,316千円	図書システム及び機器リース代（再リース分含む）	
・補償金：3,914千円	人件費高騰分	(年度内訳) 7年度 138,416千円

○R7年度の主な事業内容

・図書館システム更新に伴う選定業務	8年度 138,416千円
・各種施設設備修繕	9年度 138,416千円
・図書館協議会（2回） 等	10年度 138,416千円
	11年度 138,416千円

課名	事業名	R6 予算額	R7 査定額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	図書館管理運営事業	141,857	149,838	7,981				1,262	148,576	上記のほか 修繕料:中央監視装置PC交換等 921千円 備品購入費:図書館本館机・椅子1,045千円 坂田道男・道太文庫図書購入 209千円